学校番号	３０２０

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育（柔道：男子）	単位数	１単位/３単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・男子生徒は、２年生で週に１時間柔道を学びます。
・安全な練習法について理解し、まずは受け身の技術をしっかりと身に付けよう。
・柔道の本質を理解し、正しい技を身に付け、「柔よく剛を制す」を体感しよう。
・柔道を通して相手を尊重する態度を養おう。

2　学習の到達目標

１【知識及び技能】
心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
２【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。
３【学ぶに向かう力、人間性等】
運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	安全な受け身の方法・技術、技の名称や正しいかけ方、体力の高め方、課題解決の方法、練習法、練習を行う際の注意についての具体的な方法を理解している。 柔道の歴史、文化的特性について理解している。	知識を活用し技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をしたりするための計画を考えることができる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	柔道	柔道の特性 着方、帯の結び方 礼法	a:柔道の特性に興味を持ち、楽しさや喜びを味わおうとする。 b:正しく柔道着を着用している。 c:柔道の楽しさや喜びを味わうことができるように、受け身の重要性や礼儀を大切にすることや、事故防止に関する心得など、安全に留意して自主的に取り組もうとしている。	観察	観察 学習カード	観察 学習カード
		後ろ受け身 横受け身 前回り受け身	a:受け身の重要性を理解し、怪我や事故の防止のために徹底的に受け身の練習をおこない、健康・安全を確保して学習に取り組もうとしている。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方や、課題解決に向けた取り組みを工夫している。 c:受け身を練習する意義、体の構造、危険性などを理解し、自主的に取り組もうとしている。	観察 実技試験	観察 学習カード	観察 学習カード
2	柔道	投げ技 大腰 大内刈 小内刈 大外刈 膝車 背負投 一本背負投	a:柔道の楽しさや喜びを味わうことができるように、受け身の重要性や礼儀を大切にすることや、事故防止に関する心得など、安全を留意して自主的に取り組もうとしている。 b:礼法を正しく理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。課題の達成状況により、さらに新しい課題の設定ができる。 c:相手を尊重し、個人の特性に応じた効果的な技を身に付け、自主的に取り組もうとしている。	観察 実技試験	観察 学習カード	観察 学習カード

3	柔道	投げ技 約束練習 固め技 袈裟固 横四方固 自由練習	a:柔道の楽しさや喜びを味わうことができるよう、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすることや、攻防を展開するための得意技を身につけている。 b:生涯にわたって柔道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 相手を尊重することや自己の責任を果たそうとすること、健康・安全に留意して主体的に取り組もうとしている。	観察 実技試験	観察 学習カード	観察 学習カード

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c: 主体的に学習に取り組む態度